

リーディングDXスクール事業【実践事例】

福岡市立百道浜小学校（福岡県）【指定校】

【取組内容】 特別支援学級 国語科「発表名人・聞き方名人になろう」ICTのよさを生かした授業づくり

実践のポイント

友だちが書いた作文を読んで感想と質問の根拠となる文章に色を付け、言葉に着目し、自分との関係を捉えやすくする。

1.実践授業

国語「発表名人・聞き方名人になろうー土日の作文発表会を通してー」

ねらい：①文などに対して感じたことを伝えることができる。【グループ1】

②話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。【グループ2】

2.ICT活用

- 手書き入力、音声入力、ローマ字入力で作文を入力する。
- 学習支援ソフトで作文を共有する。
- 作文に質問や感想のコメントを送る。
- 質問や感想の根拠となる文章の色を変える。

B児の作文

三日まえ、音楽はっぴょう会をしました。ほくは、「コスモス」をーばんがんぱりました。ほんばんできんちよしていたけど、さいごまでできました。

「〇〇さんと同じで」と前の人のコメントとつながっていた。

年わかくさ A児

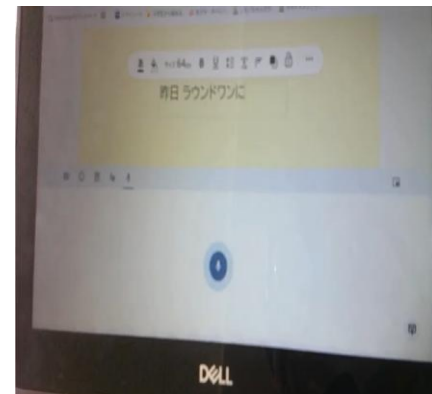
コスモスがうたえてよかったですね

2024/10/30 09:18

年わかくさ C児

A さんとおなじでコスモスが歌えてよかったとおもいました。

【友達作文とそれに対するコメント例】



【音声入力をする様子】

3.ICT活用の効果

- 発達段階の異なる児童全員が作文を入力することができた。
- 根拠をもったコメントをすることができた。
- 言葉に着目し自分と友達との関係や友だちのコメントにつなげてコメントする姿が見られた。